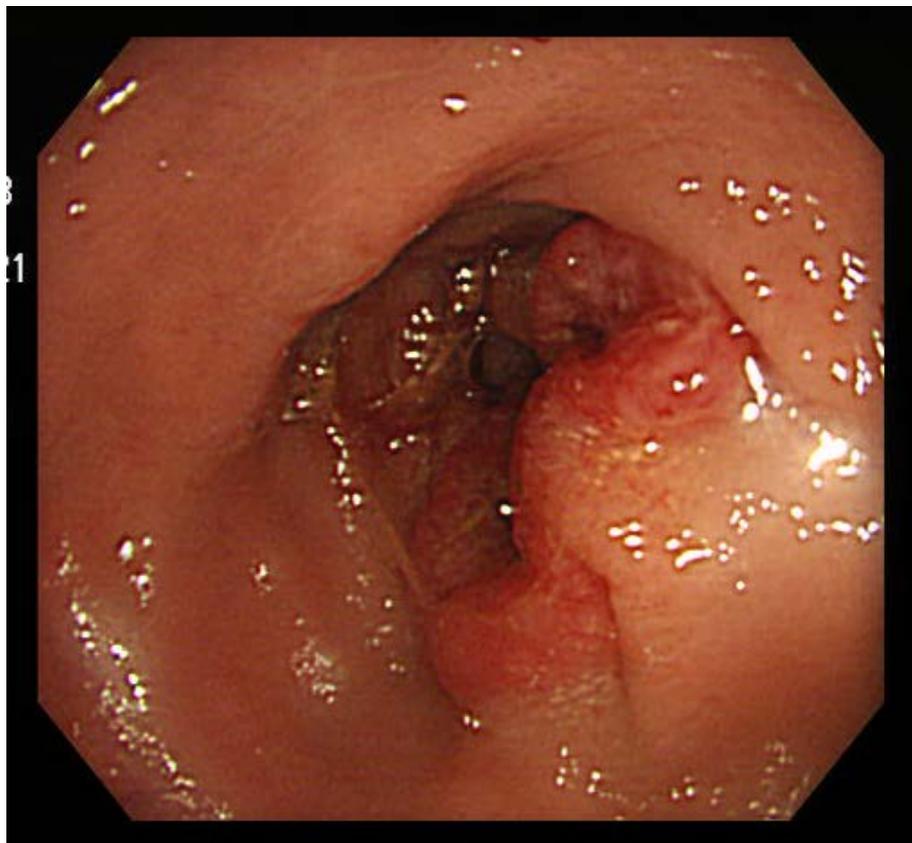


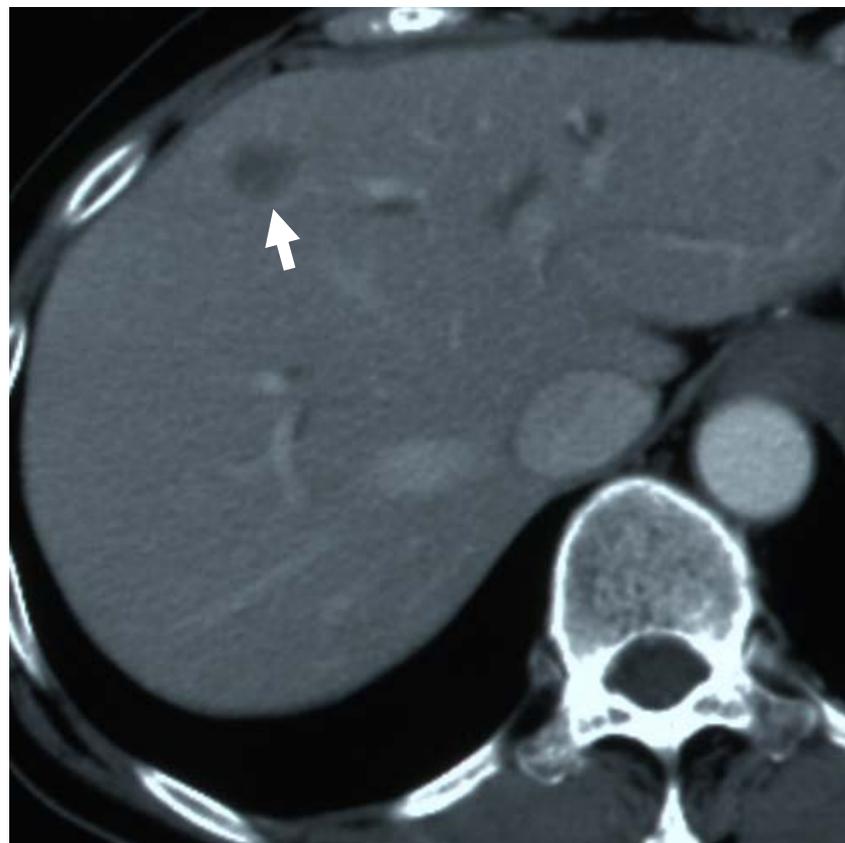
日本住血吸虫症に合併したS状結腸癌の1例

70歳代、女性、大阪市生まれ。腹痛を伴う下血が出現し、精査のため来院。下部消化管造影および内視鏡検査にてS状結腸に全周性Borrmann-II型腫瘤を、腹部CTでは肝S4領域に径2.5cmの乏血性腫瘤を認めた。S状結腸癌、肝転移の臨床診断にてS状結腸切除、肝S4区域切除を施行した。S状結腸癌 (SE N1 H1 P0 M0) Stage IV、単発肝転移であった。病理組織学的に中分化型腺癌を確認、さらに大腸・肝両切除標本内に虫卵を認めた。9-11歳の2年間、佐賀県鳥栖市および福岡県田川市に住まいし、宝満川でよく遊泳したことがある。日本住血吸虫症に合併したS状結腸癌の1例と診断した。

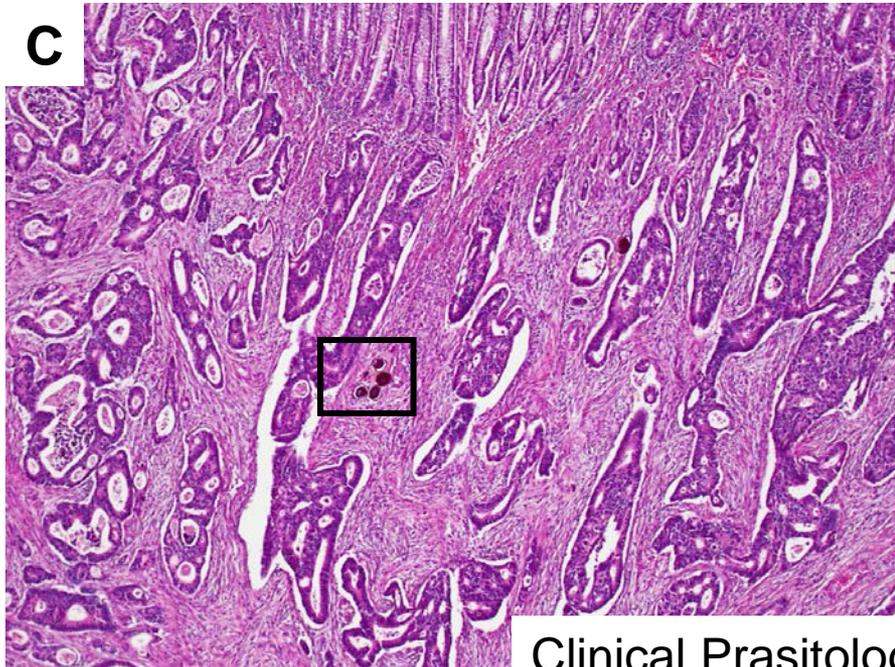
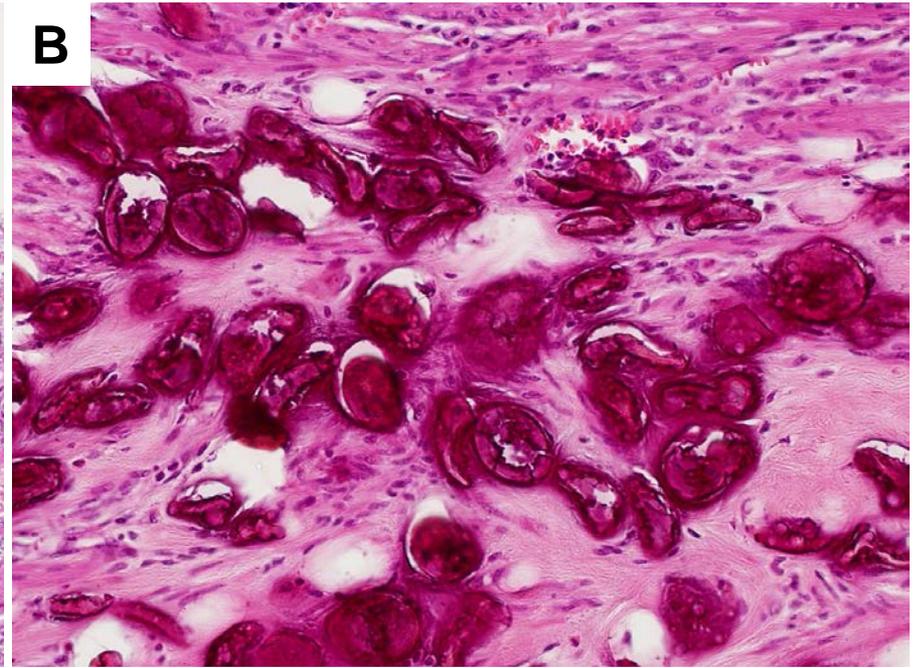
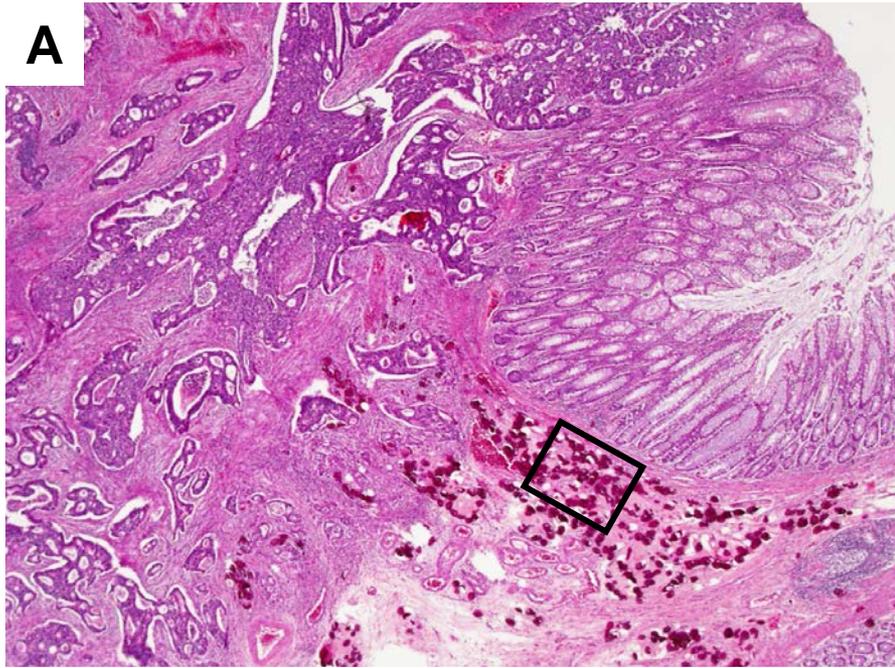
S状結腸部

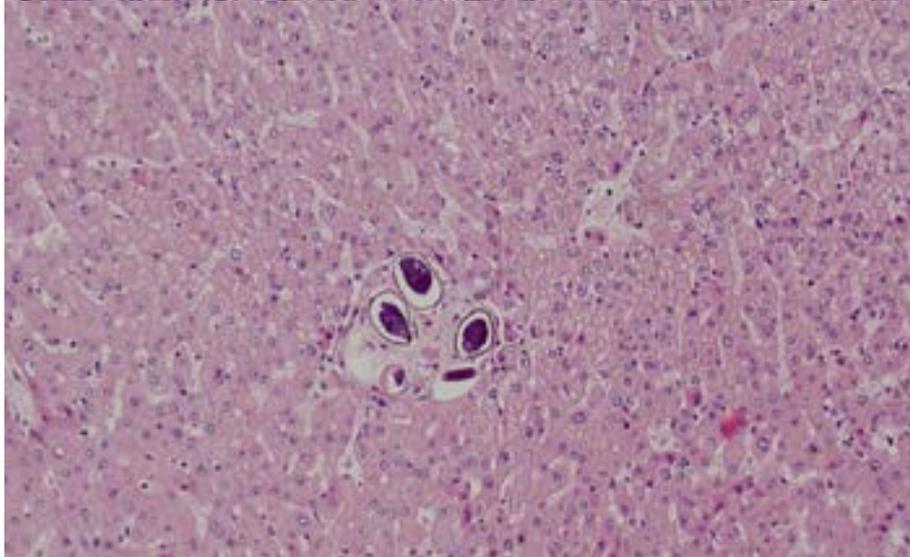
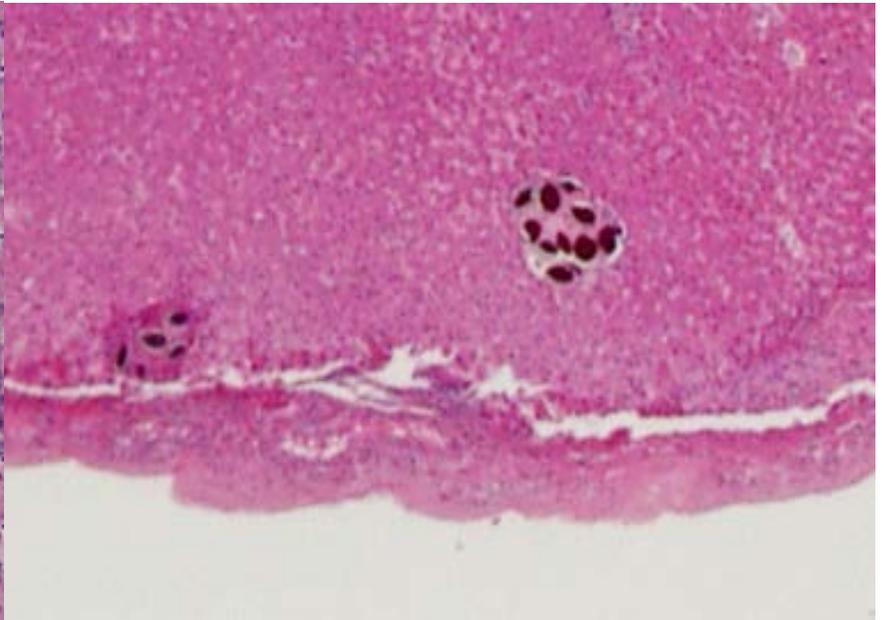
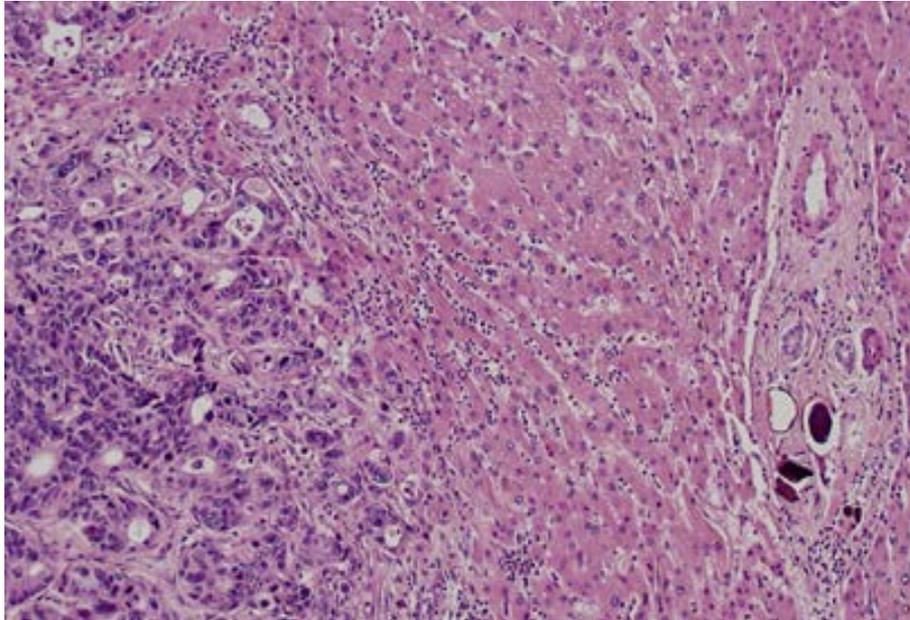


腹部CT



切除大腸組織像





癌・正常肝移行部

肝被膜下

正常肝実質内

虫卵は僅かで繊維化はほとんど無い。

追加

80歳女性、山梨県甲府市出身、現在は近畿地方在住。
健診の超音波検査像。

